

プロフィール

安藤志保(旧姓:森宗)

1969 年生まれ 43 歳

小泉小学校、第五中学校、
三原東高等学校、ノートル
ダム清心女子短期大学(英
文学科)卒業

夫、娘の3人家族

趣味は、ジョギング、自転
車、ダンス

(経歴)三菱重工業(株)三原
製作所勤務、深小学校 PTA
会長、中国新聞読者モニタ
ー、広島県「環の応援団サ
ポーター養成支援事業」講
師、三原市市民協働のまち
づくり推進員

(現職)三原市廃棄物減量
等推進審議会委員、環境審
議会委員、広島県環境保全
アドバイザー、広島県地球
温暖化防止活動推進員、脱
温暖化センターひろしま運
営委員、エフエムおのみち
「そぼくなエコ」担当、ネット
ワーク『みどりのはらっぱ』
代表、広島連塾 Sus☆テラ
ス代表

(メディア出演)テレビ新広島
特番「同じ空の下で その
時、ヒロシマは」、広島テレビ
「テレビ宣言」、NHK・BS2「行
くよ！後輩 ほいきた！先
輩」、RCC テレビ「イマなま3
チャンネル」など

発行：2013.3.10 あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会

あんどう志保

の
みどりの

はらっぱ

通信

第3号

ホームページ <http://andoshiho.jimdo.com/>

暮らし発、政治へ

市民グループをつくり、勉強や活動を始めて14年。健康、命、子ども達の未来を大切に・・・！と市民活動がんばってきました。私たちの暮らしが、住んでいる自治体や国の施策によって大きく左右されることを実感し、選挙の立候補者への公開アンケートや、選挙に行こうキャンペーンを行ったり、議会（本会議、委員会）の傍聴にも足を運び、行政との協働にも力を入れてきました。行政・市民が「協働」について一緒に学び話し合う研修が実現するなど変化もありましたが、まだまだ「行政が決めたことに市民が協力する」スタイルから抜け出せないもどかしさを各所で感じます。三原で暮らす私たちの声や想いが届く行政に！と、しっかり動き、つなげてまいります！！

「こうなってほしい♪」に向けて

大気汚染、紫外線、環境ホルモン、電磁波、食品添加物など、私たちの健康に影響する身の回りの環境問題、そして地球温暖化や、ごみ、資源、食料不足など、子ども達、孫達世代に影響する地球環境問題、そして、少子高齢化や医療費の増大など、課題は山積みです。

ほんの一例ですが、「旬のものを食べる」という、とてもシンプルなことが、生産時のエネルギー消費量を減らし、地球温暖化の原因となる CO2 排出量を減らし、夏の食材は体を冷やし、冬の食材は体を温めるなど理に適った健康法となり得ます。実際に病気が減り（医療費削減）、こうした取り組みに力を入れる自治体がでてきています。ご年配の方から子ども達へ、こんな智慧を伝える場をつくるなど、多角的に捉えた政策提案をしています。

自然豊かで美しく、
安心でおいしい地域の食材があふれ、「もったいない」と物を大切に、
子どもたちはのびのび・すくすく育ち、人も自然も、生き活きて！
そんな三原のまちに！との思いを込めた「みどりのはらっぱ」です。